

事業所名 **スマイルセンター倉吉(児童発達支援)** 支援プログラム 作成日 令和6年 2月 19日

法人(事業所)理念	われわれは福祉の担い手として知性と情熱と思いやりの心を持ち、利用者への惜しまぬ努力、自己研鑽に精進し、友愛と相互理解の精神、積極的な地域貢献、感謝の気持ちを忘れず、皆様に愛され笑顔を創造する法人を目指します。												
支援方針	子どもたち一人ひとりの「好き」「やりたい」の気持ちを尊重し、様々なことに挑戦できるよう支援します。また「自分の力でできた」「楽しい」という経験を重ねることで、自己肯定感が高まり、自信意欲につながるよう支援します。家庭とは異なる場所(社会)で過ごすことで、他者への意欲が強まり人と関わる喜びを感じられるよう支援します。子どもの特性に配慮した構造化された環境の中で、安定した生活が送れるよう支援します。												

営業時間		9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
------	--	---	---	---	-----	----	---	---	-----	---------	----	----	--	--	--	--	--	--

支 援 内 容

本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのこと(靴の片付け、荷物の整理、ノートを出す等)自ら行動できるように個々に合わせた支援をし習慣化できるようにします。 ・また小さなことでも子どものできたに気付き認める中で意欲につながるようにします。 ・室内の温度や湿度、衛生面に留意し環境を整え心地よく過ごせるようにします。 ・生理的欲求を満たしながら一人ひとりの生活リズムを大切にしていくと共に、安心できる環境のもと休息、睡眠時間が十分に確保できるよう配慮します。 ・子どもの特性に配慮した環境のもと時間や空間の構造化を行い、安定した生活ができるよう支援します。 ・日々のバイタルチェック、全身状態や呼吸の状態等の細やかな観察をします。体調不良などの意思の表出が難しい場合には表情や動き、食事の様子等の観察をしながら健康管理行っていきます。 ・医師の指示の元、医療的ケアを実施することで健康状態の維持・把握を行います。 												
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスや手遊び、リズム遊びの時にはみんなで楽しめる雰囲気を作り自ら身体を動かしたり、一緒にふれ合いながら身体機能の維持向上を図っていきます。また音の出る玩具や様々な感触のものを用意し、五感を刺激し発達を促します。 ・安定した姿勢で椅子に座り食事や様々な活動に参加できるよう必要に応じてクッションや踏み台を用いて正しい姿勢の保持ができるようにします。 ・つまむ・握る・めくる・引っぱる・押す等の指や手を使った動きの中で力の強弱や距離感を学べるようにします。 ・身体の変形・拘縮予防、筋力・体力向上に向けて、身体を動かす遊びやマッサージを行います。プレーリーや車いす、ベルトを正しく使用することで、良姿勢を保てるように支援します。また子どもの能力に合った自助具を選択・活用することで、道具の操作性の向上を図ります。 ・生活の中では感覚の過敏さや鈍感さを理解し、それに合わせた環境の調整をしたり、適切な支援を提供します。 												
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・工作や課題活動では様々な素材に触れる中で感触を楽しみ視覚触覚の感覚を刺激したり、物の形や色、大きさ等の認知機能の発達を促します。 ・体調に留意しながら外気浴の機会を設け、自然と触れ合う中で発見や驚きに共感し、興味関心がもてるように働きかけます。 ・スケジュールの使用や活動の場所を視覚的に提示することで自発的に自分で行動できるよう環境設定を行います。 ・活動の切り替え(終わり)の際にはタイマーを使用して、終わりが理解できるよう支援します。 												
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な絵本や物語に親しみがもてるよう発達段階に応じて興味のあるものを選び、絵本の楽しさが感じられるようにします。 ・大人による語りかけや歌いかけ、発語や指差しへの丁寧な応答を通じて言葉の理解や発語の意欲を育てていけるようにします。また自分の気持ちや伝わった喜びを感じ、自ら進んで発したりコミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。 ・個々の特性や発達段階に応じて、非言語コミュニケーション(絵カード・ジェスチャー・マカトサイン等)を用いた支援を行い、周囲の状況を理解したり、自分の気持ちを出表する手段として使用できるようにします。 												
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小さなサインや反応を見逃さず一人ひとりの気持ちに寄り添ったり、欲求を満たし安心感をもって過ごす中で信頼関係を築けるようサポートします。 ・身近な大人や友だちに関心をもち模倣して遊んだり、親しみをもって関わる中で物のやり取りや人と関わる楽しさを感じれるよう支援します。 ・集団活動を通して身近な大人やお友だちと一緒に活動する楽しさを感じる中で順番やルールがあることに気付けるようにします。 ・公共施設への外出や買い物支援を通して社会に適用するために必要なスキルを身につけられるよう支援します。 												
家族支援	連絡ノートや送迎時にお子様の様子を共有します。困り感に応じて面談を行い、ご家庭の支援を大切にしていきます。また各種福祉サービスの情報提供を行います。	移行支援	子どもの成長過程に応じて各機関と情報共有し、日々の状態の把握、連携を行い包括的に支援します。就学に向けて園や学校、相談員、保健師等と情報共有します。											
地域支援・地域連携	医療機関、中部療育園、保健師、園等と情報共有を行います。必要に応じて各機関と会議をし連携を行っていきます。	職員の質の向上	社会研修を行い、自己研鑽に励みます。また外部研修にも積極的に参加し、知識、技術の向上を図ります。											
主な行事等	調理実習(おやつ作り)、買い物支援(商品選択、支払いを経験)、公共機関への外出支援(地域、遊びスポットへのおでかけ)をします。季節ごとの行事(お花見、夏祭り、クリスマス等)を行います。													